

# 長野県農業経営者協会50年の歩み

年 月 日	主 要 事 項
昭和46年 3月	<p><b>長野県農業経営者育成協会発足</b>                      小諸市にある長野県農業専門学園（現長野県農業大学校営農学部）の後援会が昭和44年発足以来2年を経過する中で単に学園生の後援に止まらず、広く県農業を展望し県農政への提案、提携をすべきであるという観点にたって名称を改め発足する。                      規約制定                      農業専門学園受講生農家留学研修に係る受入農家主婦研修会、農政懇談会等を毎年開催</p>
47年 5月	<p>農村青少年農家留学研修生に対して研修終了証及び留学記念ペナントを贈呈する。</p>
48年 1月	<p>農家留学研修生受入農家経営主研究会を開催                      中央講師を招いて講演会を開催する。</p>
7月	<p>農業専門学園研修生の父母の会を各支部毎に開催</p>
49年10月	<p>農業専門学園先進地農家留学研修事業10周年記念に学習図書（425,000円）を寄贈                      （募金者232名）</p>
11月	<p>会員名簿及び協会のしおり作成</p>
50年12月	<p>県外長期農家留学生と農業専門学園生との研究会開催</p>
51年 6月	<p>長野県農業経営者協会の設立準備に入る。</p>
52年 2月	<p><b>長野県農業経営者協会発足</b>                      農業経営者育成協会を改組し農業経営者協会（会員322名）を設立する。                      綱領、規約の制定、顧問推載他。</p>
11月	<p><b>農業振興研究懇談会の開催</b>                      農業及び農業教育に関する諸問題についてその年度毎にテーマを設定して研究討議し、農業の振興や農業教育の方向を見出す研究会を開催する。</p>
12月	<p><b>主婦研修会の開催</b>                      農家留学研修生受入農家主婦のみならず会員の妻全員を対象に主婦の学習及び交流を深めると共に県内先進的農業を視察する。</p>
12月	<p><b>農業振興に関する要請活動</b>                      農業振興研究懇談会において研究討議された事項のうち県行政や農業教育に関する提言あるいは要請事項を知事をはじめ関係部課長等に要請する。</p>
54年 6月	<p><b>農業教育懇談会の開催</b>                      農業高校等の教育関係者、行政、農業団体代表者等により農業後継者の確保育成と農業教育のあり方等について各ブロック毎に懇談会を開催する。</p>

年 月 日	主 要 事 項
昭和54年 8月	<p><b>農村青年先進地農家留学研修の手引作成</b> 農家留学研修生の研修の心掛けや学習態度、研修の進め方、まとめ方及び受入農家の研修生に対する指導方法や生活指導の方法を手引書にまとめ関係者に配布する。</p>
55年 7月	<p><b>中国農業研修生の受入指導</b> 日中友好事業の一環として中国陝西省から農業研修生を受け入れる。</p>
56年10月	<p><b>中国陝西省へ代表派遣</b> 中国研修生受入団体として代表者（有賀会長・荻原副会長）を派遣し、交流を深める。</p>
57年 2月	<p>長野県農業大学校営農学部50周年記念に門柱と旗掲揚ポール及び図書を贈る。</p>
58年 9月	<p><b>農業経営士の認定</b> 県農業の中核的担い手と地域農業リーダー及び農業後継者の育成者として農業経営士の認定が行われる。</p>
12月	<p>会員名簿作成379名</p>
60年 6月	<p><b>先進的農業経営者懇談会の開催</b> 知事を囲んで会員の代表者が自己の経営を踏まえ農業情勢や今後の長野県農業の発展について懇談する。</p>
8月	<p><b>会員証（門標）の配布</b> 会員が自他共に誇れる農業経営と生活の実践者のシンボルとして門標（長野県農業経営者協会員の証）を作成し各会員の玄関に掲げるよう有償で配布する。</p>
62年 9月	<p><b>農業経営者協会15周年記念事業の実施</b> 協会発足15周年を節目に記念式典、講演会、功労者の表彰及び祝賀会を長野国際会館で実施する（出席者200名）。併せて協会記念誌「大地の賛歌」を作成し会員及び関係者に配布する。</p>
10月	<p><b>関東ブロック農業士研究会の開催</b> 関東管内9県の指導農業士、青年農業士の代表50名が戸倉町の名月荘に参集して研修を行う。 現代青年の意識と指導の方法について講演会と分科会及び現地視察（松代町及び須坂市中島農園）</p>
63年12月	<p><b>農業関係試験場との交流会を開催</b> 農業の先端技術を学習すると共に農業技術の開発の方向を話し合うため農業関係試験場長、研究員等と研究懇談会を開催する。</p>
平成元年 1月	<p><b>県教育長との農業教育懇談会を開催</b> 農業教育のあり方と農業後継者の確保育成に関して県教育長及び教育関係課長と懇談する。</p>

年 月 日	主 要 事 項
平成元年12月	会員バッチの配布（全会員444名）
2年12月	報道関係機関との懇談会の開催 農業の魅力をもPRする目的で、県下の主要報道機関関係者と懇談会を開催する。
12月	小学生農作業体験作文コンクールの開催 農業を体験し農業を理解し、将来の担い手や農業の理解者を育てるために小学校の協力を得てコンクールを開催する。
3年10月	農業経営者協会20周年記念事業の実施 創立20周年を祝して記念式典、記念講演、祝賀会を長野市「山王共済会館」で実施する。
4年1月	韓国研修視察を実施 韓国研修生受け入れ事業の答訪として会長以下10名参加する。
3月	農業経営者協会20周年記念誌「大地の賛歌（Ⅱ）」を作成する。
5年3月	県農業大学校営農学部優秀卒業生1名を表彰する。
3月	農協連合会役員等との懇談会を開催する。（出席者23名）
6年11月	県農政部部長との懇談会を開催する。 出席者18名（当協会員7名、県関係者11名）
7年11月	関東ブロック指導農業士研究会を開催する。 場 所 松本市 美ヶ原温泉ホテル（1泊2日） 参加者 176名（当協会員83名、県農業士協会員19名、県外農業士38名、その他36名）
8年1月	従来の「主婦研修会」を「女性フォーラム」と改称し開催する。
4月	知事、農政部長、住宅部長等に対し陳情・要請を行う。 農業生産用温室及び関連施設の建築基準見直しに関する陳情
8月	農業改良普及センターの統合に伴う要請
9月	腸管出血性大腸菌O-157対策に関する要請
9年6月	農業者三団体役員懇談会を開催 生活改善グループ連絡協議会及び農村生活マイスター協会役員と今後の事業提携等について検討した。
10年1月	農業経営者セミナーの開催 会員相互の交流を深めるとともに、地域農業のリーダーとしての資質向上を図るため、講演会、パネルディスカッション、分散懇談会等を行う。（参加者138名）

年 月 日	主 要 事 項
平成10年	新規就農者研修指導事業を実施 農業研修生を受け入れた会員への支援や新規就農者定着のための事業を行う。
9月	県農政部長等に対し、台風7号による農作物被害について陳情を行う。
11年	作物別研修会（4支部）、ブロック別研修会（中信、北信）を実施する。
8月	熟年会員四季懇談会を開催（参加者11名）
12年	地域において農業振興提言活動を行う。（6支部）
13年9月	各経営部門の中堅会員による座談会「長野県農業の将来像（これからの10年を見据えて）」を開催する。
11月	「農業経営者と県農政関係各課等との農業を語る会」を開催 長野県農業が抱える様々な問題について支部代表が意見発表を行った後、参加者全員で自由討論を行う。
14年1月	農業経営者協会30周年記念事業の実施 創立30周年を祝して記念式典、記念講演、祝賀会及びグループディスカッション“どうする？これからの長野県農業”を長野市「メルパルクNAGANO」で実施する。併せて記念誌「大地の賛歌（Ⅲ）」を発刊する。
2月	熟年者懇談会を開催（参加者11名） 協会活動30年を振り返って、発足当時の役員等との懇談を行う。  ホームページを開設し、運営を始める。
15年2月	県農政部（参加者14名）及び「JA全農長野県本部（参加者27名）」とそれぞれ懇談会を開催
10月	東京都千代田区 日比谷シティで開催された「まるごと長野県」に参加 10支部（うち協力支部が3）が3日間参加して、農産物や農産加工品の販売を通して、食の安全・安心の啓発を行う。
16年11月	関東ブロック農業士研究会を開催 場 所 上山田温泉 圓山荘（1泊2日） 参加者 102名（会員63名、他県会員等39名）
17年6月	長野県農業振興に関する提言を県に対して実施
18年1月	長野県北部の豪雪に対して2日間にわたり支援活動を実施（参加者延べ33名）

年 月 日	主 要 事 項
<p>平成18年 9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p>	<p>新規参入者のほ場巡回の実施 新規就農里親支援事業の里親農家が一堂に会して、新規参入者のほ場巡回を行う。</p> <p>農業改良普及センターの独立機関としての復帰を知事に対して要望</p> <p>「農業改良普及センターが本来の機能を発揮できる独立機関として復帰することについて」長野県議会議長に対して請願</p> <p>長野県知事と長野県農政を語る会の開催 場 所 県庁 第3応接室 参加者 33名（会員16名、村井知事等県関係者6名、関係団体等11名）</p>
<p>19年 2月</p> <p>7月</p>	<p>海外農業調査の実施 場 所 台湾 台北市（2泊3日） 参加者 15名 調査先 台北縣「八里郷農会」にて台湾の農業協同組合の研修等</p> <p>新潟県中越沖地震（7月16日発生）により被災を受けた会員の菌茸施設の復旧支援活動を実施（参加者17名）</p>
<p>9月</p>	<p>「長野県農業施策への提言」を村井知事に手渡す。</p>
<p>20年 9月</p>	<p>長野県知事との「長野県農業を語る会」及び県農政部課長との「長野県農業を元気にする会」の開催</p>
<p>21年 2月</p>	<p>J A全農長野県本部幹部との意見交換会の開催 場 所 J Aビル 参加者 25名（会員14名、全農等11名）</p>
<p>7月</p>	<p>海外農業調査の実施 場 所 マレーシア（3泊4日） 参加者 20名 調査先 青果市場等</p>
<p>7月</p>	<p>経営実態調査の実施 協会は、大規模農家の集合体であることが、会員の販売金額からも裏付けられる。</p> <p>ホームページのリニューアルを実施</p>
<p>9月</p>	<p>「足腰の強い長野県農業を目指して」をテーマに「長野県農業を語る知事とのつどい」及び県農政部課長との「長野県農業を元気にする会」の開催 場 所 松本市 松本東急イン 参加者 105名（会員95名、村井知事等県関係者10名）</p>

年 月 日	主 要 事 項
平成21年12月	農林水産省幹部と指導農業士等代表との意見交換会に出席
22年 3月	農業経営士として新たに18名認定を受ける。
5月	創立40周年記念事業に関するアンケート調査の実施
8月	創立40周年記念事業実行委員会の設立と第1回実行委員会の開催
11月	「元気な長野県農業を考えよう」をテーマに「知事とのファーマーズ会議」及び県農政 部課長との「長野県農業を元気にする会」の開催 会議において、「元気な長野県農業の実現のための提言書」を阿部知事に手渡す。 場 所 松本市 ホテルモンターニュ松本 参加者 97名（会員84名、阿部知事等県関係者13名）
11月	新たな販路の開拓として東京都 椿山荘で開催された「信州農産物商談会」に参加 （参加者 8名）
23年 2月	海外農業調査の実施 場 所 台湾 台北市（2泊3日） 参加者 18名 調査先 元極耕学農園等
3月	「第14回全国農業担い手サミットin長野」の実行委員長として当協会々長が就任
3月	東北地方太平洋沖地震（発生日時：3月11日14時46分頃、震源地：三陸沖、規模：マ グニチュード9.0〔宮城県栗原市で震度7〕）及び長野県北部地震（発生日時：3月12 日3時59分、震源地：長野県北部、規模：マグニチュード6.7（暫定）〔栄村で震度6 弱〕）に伴う被災地を応援する活動を展開
9月	栄村長に震災義援金350,000円を贈呈
10月	TPPに関する正しい知識と情報を得るために長野県農業士協会との共催により「TPPを 考える学習会」を開催（参加者108名（会員61名））
10月	震災義援金として宮城県農業士会へ400,000円、福島県指導農業士会へ300,000円をそ れぞれ送金
11月	「集まろう日本の屋根に 語ろう明日の農業を ～アルプスに響け！夢ある農業～」を 大会テーマとした「第14回全国農業担い手サミットin長野」が皇太子殿下御臨席のも と開催される。



年 月 日	主 要 事 項
平成24年 1月	農業経営者協会40周年記念事業の実施 創立40周年を祝して記念式典、記念講演、祝賀会を松本市ホテルブエナビスタで実施する。併せて記念誌「大地の賛歌（Ⅳ）」を発行する。
3月	農業界と経済界との連携による新たな地域経済活性化のきっかけづくりとして、長野県商工会連合会と意見交換会を開催（参加者15名）
9月	震災被災地復興への一助とするため名古屋市中日ビルで農産物を販売  平成23年度に続き、被災された農業者を支援するため栄村・宮城県農業士会・福島県指導農業士会にそれぞれ10万円を送金
10月	新たな販路開拓として東京都グランドプリンスホテル新高輪で開催された「信州農産物商談会」に参加（参加者9名）
12月	関東農政局幹部と指導農業士等代表との意見交換会に出席し、話題提供を行う。
25年 2月	海外研修の実施（2泊3日） 場 所 フィリピン（マニラ等） 参加者 14名 視察先 ソーナアズガーデン等
3月	農業経営士として新たに20名認定を受ける。
10月	関東ブロック農業士研究会を開催（1泊2日） 場 所 戸倉上山田温泉ホテル圓山荘 参加者 172名（会員51名、他県会員等121名）
12月	関東農政局幹部と指導農業士等代表との意見交換会に出席し、話題提供を行う。
26年 3月	平成26年2月の降雪による農業用施設及び農作物被害対策について、県に要請
10月	長野県農産物を中京方面にPRするため名古屋市中日ビルで旬の農産物を販売
12月	関東農政局幹部と指導農業士等代表との意見交換会に出席
27年 3月	農業経営士として新たに19名認定を受ける。
10月	長野県農産物を中京方面にPRするため名古屋市中日ビルで旬の農産物を販売
12月	関東農政局幹部と指導農業士等代表との意見交換会に出席
28年10月	長野県農産物を中京方面にPRするため名古屋市中日ビルで旬の農産物を販売

年 月 日	主 要 事 項
平成28年12月	知事とのファーマーズ会議に先立ち県農政部課・室長との懇談会を実施し、ファーマーズ会議と同様のテーマで会員（5名）が提案・提言を行う。
29年10月	長野県農産物を中京方面にPRするため名古屋市の中日ビルで旬の農産物を販売
11月	関東農政局幹部と指導農業士等代表との意見交換会に出席
12月	知事とのファーマーズ会議に続き県農政部課・室長との懇談会を実施し、ファーマーズ会議と同様のテーマで会員（2名）が提案・提言を行う。
10月	長野県農産物を中京方面にPRするため名古屋市の中日ビルで旬の農産物を販売
30年7月	信州大学農学部との果樹懇談会を開催
12月	知事とのファーマーズ会議に続き県農政部課・室長との懇談会を実施し、会員（2名）が農業用施設の延命化問題と地域の再基盤整備問題について提案・提言を行う。
31年1月	関東農政局幹部と指導農業士等代表との意見交換会に出席
令和元年6月	令和元年度販売促進部会を設置し、協会内の体制づくりとして、長野・松本の2会場で新たな販路開拓に係る説明会を開催
11月	信州大学農学部との果樹懇談会を開催
2年1月	知事とのファーマーズ会議に続き県農政部課・室長との懇談会を実施し、会員（1名）が「農地集積、その後…」と題し提案・提言を行う。
6月	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため総代会が書面議決により行われる。
7月	スノーピークランドステーション白馬週末マルシェへ出店し、信州農産物をPRする（10月末まで22回出店）。
10月	新型コロナウイルス感染症が農業経営に及ぼす影響について会員対象に調査し、その結果を取りまとめ県農政部長と正副会長とで意見交換する。
12月	農業災害時における復旧応援に関する協定書を長野県、長野県農業士協会と3者で締結 ～令和元年度のファーマーズ会議での提案から～
	【新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、多くの事業が開催中止や延期となる。また、新型コロナウイルス感染症対策支部助成事業を実施する。】